

福島県交通安全協会活動トピックス

令和6年2月14日

交通遺児奨学基金協会に100万円

セーフティチャレンジ事業実行委員会が寄付

県交通安全協会セーフティチャレンジ事業実行委員会は、2月14日、県交通遺児奨学基金協会に100万円の寄付を行いました。

贈呈式は県庁で行われ、県交通安全協会の小川則雄副会長が県庁で鈴木正晃副知事に目録を手渡し、「参加者は9年連続で6万人を超えている。今後も事業を拡大し交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図り交通事故防止に貢献したい。」と述べました。

セーフティチャレンジ事業は、県民が3人1組でお互い注意し合い励まし合いながら、無事故・無違反を目指すもので、本年度は、20,794チームが参加しております。

セーフティチャレンジ事業実行委員会は、平成28年から寄付を続けており、今回で9回目、総額900万円となります。

贈呈式では、県交通安全協会の佐藤正人専務理事が立ち会いました。



交通安全年間スローガン「わたります 止まるやさしさ ありがとう」